



2. 目的

1: 愛光園できれいになって お家へ帰っていただく 

2: 職員が介助をする ⇒自分で身なりを整える 

3. 方法
- ①対象ご利用者の選定
  - ②ニーズの把握: 認知症高齢者の絵カード評価法
  - ③FIMの評価: ADL状況・介助量の把握
  - ④動作分割表: 顔を拭く動作のみで ADL状況・介助量の把握
  - ⑤自分で顔を拭く: 10時(入浴)・12時・15時

#### 4. 結果 ①対象ご利用者様の選定

- ・要介護度4～5(12名)の中からベッドで過ごす時間の多い3名に対し『認知症高齢者の絵カード』を実施。

昔は、川でよく魚釣りをしたよ



注:この写真は別の方です



#### 対象ご利用者

A様 70代  
・経管栄養  
・パーキンソン症候群

B様 90代  
・心不全  
・左上腕・大腿骨骨折



#### ②絵カードから聞き出したニーズ

A様

B様

◎「顔を洗う」ということに対して「気持ちいいよ。毎日娘が温タオルを持ってきてくれる。」

◎【整容】に関しては比較的、すべての項目を重要視している。昔行っていたことに対して重要視はしているが自分の身体状況を理解し、困難と感じている様子。「身体が効かないからやらない」

#### ③FIMとは(機能的自立度評価表)



- ◎介護量の測定が目的
- ◎全18項目を介護量に  
応じて7段階で評価  
最低18点～最高126点
- ◎点数が高い:自立している  
点数が低い:介助を要する

#### ④動作分割表

- ◎動作分割表を作成
- ◎顔を拭くという動作を工程ごとに表記
- ◎評価基準はFIMを参考とする

	動作分割表～顔を拭く～					
	評価日	／	評価日	／	評価日	／
タオルを用意						
手で持つ						
顔を拭く						
目を拭く						
鼻を拭く						
頬を拭く						
口を拭く						
顎を拭く						
タオルを片付ける						
合計						

対象者の動作を項目ごとに評価する。(一項目7点)  
評価基準はFIMを参考とする。

#### 取組実施前の結果

◎A様

◎B様

FIM 14点/91点

FIM 13点/91点

整容 9/63点

整容 9点/63点

### ⑤自分で顔を拭く 実施期間:8/17~9/7

◎A様 

・期間中のご利用 4日  
・実施回数 10/12回

・目やにをきれいに取りきる  
ことまではできないが、**顔  
全体を拭くことが出来た。**

◎B様 

・期間中のご利用 5日  
・実施回数 8/15回

・入浴中の不安定さや  
疲労感から一部のみ清拭  
や出来ない日もあるが  
**手・顔中心を拭ける。**

### FIMの結果(運動項目のみ)

◎A様 

実施前 14点/91点



実施後 **16点**/91点

◎B様 

実施前 13点/91点



実施後 **14点**/91点

### ⑤動作分割表

◎A様 

実施前 9点/63点



実施後 **36点**/63点

◎B様 

実施前 9点/63点



実施後 **27点**/63点

### 5. 考察・まとめ



在宅福祉サービスの役割



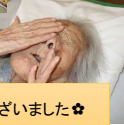
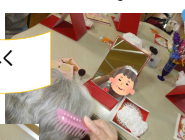
機能の維持・向上

介護者の負担軽減

### 5. 考察・まとめ



来た時よりも美しく



ご清聴ありがとうございました☆

